十勝毎日新聞
2009年（平成21年）2月23日 月曜日
発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表)0155-22-2121

中川前財務相

28日帰勝で調整

失態会見 辞任後初

支援者に説明へ

中川昭一衆院議員が28日に財務・金融相の辞任後、初めて、十勝入りする方向で調整していることが明らかになった。音更町内で開かれる十勝連合後援会（有塚利宣会長）の総会などに出席するほか、各種支援団体との懇談も計画されている。国際会議後の記者会見など一連の失態に関し、本人から直接、地元支援者に対し陳謝・説明する予定だ。中川氏を支えることで一致している後援会サイドは、次期衆院選に向けての対応を判断する重要な場面と位置付けている。

22日午後1時から帯広市内の事務所で開かれた、後援会と自民党の合同役員会で示された。約150人の支援者・関係者が集まり、予定していた後援会総会の開催日程、本人の出席調整について報告があった。

28日は農業団体などとの懇談もスケジュールに組まれている。中川氏は現在、都内で検査入院しており、本人の体調を考慮しながら総会出席の可否を最終決定する。

役員会では厳しい意見も出たが基本的に中川氏支援の方向性を確認、「本人の状況を温かく見守る」（出席者）ことにした。有塚会長は「いろいろな意見が出たが、今この政治家を失っていいのかとの激励があった。メディアでいろいろと言われて情報も錯綜（さくそう）しているので、本人から現状の報告を聞きたい」と話す。

一連の騒動を受けて、支援者の間には「一度の失敗ですべて無にするのはどうか。再起のチャンスはまだある」と復帰を希望する声は根強い。半面、次期衆院選に向けて「態勢を立て直すのには時間を要する」との見方も。中川系の帯広市議は「反省の意をどれだけ地元有権者・支持者の心に訴えられるかが問われる」と語り、28日の動向を注視する。

後援会の鈴木樹会長代行は「国益や地域のために頑張ってきたことを考え、今こそ後援会が一枚岩になる時期。総会で出るいろいろな意見を吸収して一致団結に向かいたい」と話している。（安田義教）

清水町長に高薄氏3選

投票率80・37％

橋本氏に95票差

【清水】任期満了に伴う清水町長選挙は22日、投票が行われ、即日開票の結果、現職の高薄渡氏（67）＝無所属＝が3487票を獲得。前町議で新人の橋本晃明氏（46）＝同＝を95票の小差で破り、3選を果たした。橋本氏は終盤に追い上げて大接戦に持ち込んだが、あと一歩及ばなかった。（2、20面に関連記事）

4人が出馬した2001年以来、8年ぶりの選挙戦。「健全な財政で思いやりを大切にした活力ある確かなまち」の実現を掲げる高薄氏に、「胸の張れるまちにチェンジ」を唱える橋本氏が挑む一騎打ちとなった。

高薄氏は〝町民党〟として特定政党の推薦を受けず、後援会幹部には地域の団体や企業のトップ、町議らが名を連ね、清水高時代の同級生も含めた全町的な支援態勢を構築した。

2期8年で約111億円の借金返済など財政健全化の実績、知名度や政界とのパイプ、40年以上にわたる豊富な行政経験を強調。コミュニティバスの運行や子育て支援課設置、協働のまちづくりなど54の政策公約を掲げ、選挙運動を展開した。若手や商工業者の支持が思うように伸びなかったものの、高齢者層の厚い支持を最大限に生かして01年選挙から300票ほど上積みし、追撃をかわした。

橋本氏は農業青年らを中心とした草の根運動で地道に支援の輪を広げ、民主党清水支部の支持、連合清水、連合十勝の推薦も取り付けた。御影地区にも後援会事務所を設けて活動を拡大、現職の地盤切り崩しを図り、「チェンジ清水」を合言葉に意識改革、構造改革を伴った行財政改革実現などマニフェスト選挙を展開した。

告示以降、現町政への批判票などを幅広く取り込んで猛追したが、頼みの連合や民主党といった組織票が伸びきれなかった。最終盤で高齢者層への支持拡大を仕掛け、健闘したものの、わずかに及ばなかった。

町長選の投票率は80・37％で、前々回（2001年）を3・54ポイント下回り、同町長選史上、過去最低だった。同時執行の町議補選は80・27％で、前回07年1月の町議選を0・59ポイント上回った。

清水町長選 開票結果

当 3,487	高薄 渡 67	無現	
3,392	橋本晃明 46	無新	

当日有権者	8,638人	有効投票	6,879票
投票総数	6,940票	無効票	61票
投票率	80.37％		

たかすすき・わたる
1941年、清水町生まれ。清水高卒。61年に清水町役場入り。助役を経て2001年の町長選で初当選した。

薄氷の勝利で3選を決め、笑顔で乾杯する高薄氏。左は玲子夫人（22日午後11時半ごろ、金野和彦撮影）

芽室町予算案

一般会計4.9％増

92億円 保育所移転2億円

宮西義憲町長

【芽室】町は23日午前、2009年度予算案を発表した。一般会計は92億3200万円で、前年度当初予算比4・9％（4億3200万円）の増。繰越明許費を加えるなどした実質予算規模は101億8708万円で、同13・7％（12億2644万円）増の積極型となった。10特別会計を合わせた総額は同0・8％増の181億9954万円。

一般会計の歳入のうち、町税は同3％（7115万円）増の24億5504万円、地方交付税は同1・5％（5000万円）減の33億5000万円を見込んだ。

主な新規事業では、中央保育所の旧芽室高校跡地への移転に伴う建て替え事業に2億5336万円、JAめむろ複合福祉施設の介護予防拠点整備に4530万円、市街地マンションなどを公営住宅に借り上げる補助費7522万円、新エネルギー推進事業165万円など。

このほか、道営土地改良事業参画事業に2億5747万円、企業誘致促進対策事業に2億2168万円、道路新設改良事業5668万円（郊外地、市街地の合計）を計上した。

宮西義憲町長は「生活の安心確保と、地域活性化への貢献を意識した」と話している。（井上朋一）

第2子園児を半額化

浦幌町 一般会計0.4％増51億円

【浦幌】町は23日午前、2009年度予算案を発表した。一般会計は前年度当初比0・4％増の51億5000万円で、6年ぶりの増額。特殊事情の公的資金補償金免除繰上償還分を除くと、同0・8％の増。10特別会計を合わせた総額は同0・6％増の83億5642万円。水沢一広町長は「依然財政は厳しく、新規事業は抑えたが、子育て支援などに重点を置いて編成した」と話している。

水沢一広町長

歳入は、町税収入が固定資産税の評価替えに伴う減少などで5億2285万円（前年当初比4・0％減）。普通交付税は28億9050万円（同1・5％減）、臨時財政対策債は2億7210万円（同55・5％増）を見込んだ。

歳出では、06年度にピークを迎えた公債費が、同償還分を含め前年比1億5349万円減の8億9078万円。駅停沢線林道開設事業の完了により、7142万円を減額するなどした。まちづくり交付金事業は5488万円の増額となっている。

主な新規事業は、人づくり・まちづくり地域コミュニティ推進事業支援補助事業10万円、開町110年記念事業費628万円、保育園・幼稚園の第2子児童の半額化（昨年度から実施の第3児以降無料化と合わせて663万円）、乳幼児医療助成事業（拡大）399万円など。（大笹健郎）

円高…前年より3万円値下げ

台湾ツアー企画

とかちアジア観光誘致推進協

とかちアジア観光誘致推進協議会（岩野洋一会長）は、ゴールデンウイークの5月1―5日の4泊5日で、とかち帯広空港発着の国際チャーター便で行く台湾旅行ツアーを企画した。円高で前年より平均3万円値下げしており、台北、高雄、花蓮などを回る5コースを用意している。

国際チャーター便の台湾ツアーは3年連続4回目。自由に観光できるフリーコースと周遊コースの2種類を設けた。中華航空のチャーター便を使う。

5コースとも台北の桃園国際空港が発着地。2日目以降の行動は各コースで変わる。周遊コースでは台湾料理や名物の「牛肉麺（めん）」、フルーツの食べ歩き、主要都市観光とショッピング、「五甲龍成宮の見学、「日月潭湖上遊覧船観光」など。

岩野会長は23日午前10時から帯広商工会議所で記者会見し、「台湾の歴史、文化を知り丸ごと体験できる。円高の優位性を生かし多くの人に参加してほしい」と語った。

定員150人。旅行代金は6万9800―13万5000円（2人1室利用）。1人部屋追加代金は1万5000―3万円。24日から募集を始める。申し込み、問い合わせは同協議会事務局の帯商（25・7121）へ。（中津川甫）

トラック各種レンタルカー
高木レンタカー
帯広西16北1 ☎36-1166

編集余録

街の声

暖冬だと思う心のすきをとがめるように寒波が舞い戻ったその日（17日）の昼下がり、帯広の街なかを朔風（さくふう）とともにひとつの衝撃が駆け抜けた。中川財務相が「予算案の通過後に辞任の意思を表明した」（実際は同日夜に辞表を提出に変わった）がそれである▼その報を受けて、市内西2条繁華街の要所には早速、街録ビデオカメラを肩に構えた民放の放送局員や、マイクを手にした記者らが出動して、道行く人にその感想を求めていた。渦中の人物の選挙区が地元であるだけに、有権者の生の声を拾いたかったのであろう▼だが、見ていた限りではそのインタビューに素直に応じる人は少なく、マイクを向けられた人があいまいな笑みをほおに浮かべて、そそくさとその場を立ち去る姿が多く見られた▼それが郷土の政治家を地に落としたくないという配慮によるものか、あるいは人の過ちをそしることを嫌う、おおらかな千勝人の性（さが）からきたものかは定かではない。マイクになじめぬ庶民性の一面もそこにはうかがえよう▼アメリカの「マン・オン・ザ・ストリート」の日本版であるこの街頭録音は、1947年5月にNHKのラジオ番組として登場した。以来、今日まで大衆の意見発表の場として活躍している▼草創時代の人気アナ、藤倉修一さんの笑顔や、当時「デンスケ」と呼称されていた小型携帯録音機が懐かしい。（海保進一）

おことわり

連載の「検証2009帯広市予算」は休みます。

■配達/講読に関するお問い合わせは
0120-25-3999
■ニュース速報は携帯サイト「かちもバ」
http://kachimai.mobi/
■十勝毎日新聞社ホームページ http://tokachi.co.jp/
○編集局/22-2121 ○広告局/23-2323 ○事業局/22-7555 ○販売局/24-2222

歯周病専門医による
歯周病相談
医療法人 わだ歯科 帯広市西20条南3丁目 ☎34-2001
日本歯周病学会認定 歯周病専門医 院長・歯学博士 和田 大海

あすの帯広　最高気温 0℃　最低気温 −15℃
6～12時　12～18時

きょうの紙面

出発前に懇親深める　22
マ市　帯広市の国際姉妹都市・米国マディソン市に3月に派遣される児童・生徒が22日、マディソン帯広姉妹都市会のミラー会長と懇親を深めた。

手品で保育所〝行脚〟計画　21
芽室　子供たちの笑顔が見たい―。3月末に定年退職する芽室町職員の加藤光幸さんが、4月以降、趣味の手品で道内の保育所を〝行脚〟する計画を進めている。

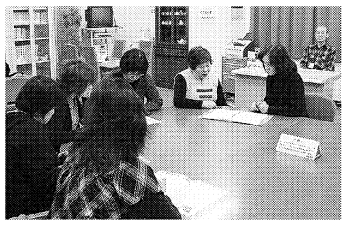
御影グレッズ、来季はAプール　13
復帰　アイスホッケーの全日本女子選手権大会Bプールで、フルタイムシステム御影グレッズが優勝。来季のAプール復帰を決めた。

「おくりびと」が外国語映画賞　5
米アカデミー賞　米アカデミー賞で、滝田洋二郎監督の「おくりびと」が、日本作品初の外国語映画賞に。最優秀短編アニメーション賞は「つみきのいえ」が受賞。

テレビ・娯楽　6―8、24
なんでも広場　9
スポーツ　10―13
せいかつ掲示板　17
らいふ（健康）　18、19
ぐるっと18町村　20、21

大切な一歩一歩。

㈱北のハウス
〒080-0802 帯広市東2条南17丁目10番地1
TEL.0155-22-5147 FAX.25-6128
フリーダイヤル 0120-50-5678
URL http://www.kitano-house.co.jp

お気軽にボランティアセンターへ!!
◆ボランティア活動の相談紹介・・・
ボランティアセンターではアドバイザーが、ボランティア活動をしたい人、ボランティアを必要としている人の相談を受けています。
◆情報の収集と発信・・・
インターネットでの情報収集やボランティア活動情報を掲示しています。
◆活動の支援・・・
ミーティング室の提供や印刷機、コピー機の使用（紙は各自持参）、ビデオや車椅子の貸出しなどの支援やボランティア活動保険の助成を行っています。

◀ボランティアセンター
ボランティアアドバイザー在室曜日及び時間
月曜日～金曜日
午前10時～午後6時

ボランティアは愛の架け橋
今、地域社会はあなたの力を必要としています!!
～帯広市ボランティアセンター運営委員会～
「いつでも、どこでも、誰でも」これが、ボランティアの合い言葉です。
何も難しいこと、特別なことではありません。ボランティアをする人、
必要としている人、それぞれが尊重し、互いに助け合うことは自然なことです。
共に汗を流し、喜びを分かち合い、共感するために
みなさんもボランティアの仲間に入りませんか。
ボランティア活動では金銭報酬は得られませんが、
心に大きな喜びとして高い次元の価値が還元されるでしょう。
研修会のお知らせ
全ての人が安心して暮らせるために
～ボランティアに求める活動について～
講師：社会福祉法人 帯広太陽福祉会 救護施設東明寮 施設長・社会福祉士 杉野全由氏
とき 3/15(日) 10:30～12:00
ところ 帯広市グリーンプラザ集会室

ボランティアはこのような活動をしています!
◆高齢者・障がい者への活動・・・
話し相手、外出介助、通院介助、買い物介助、清掃活動、施設ボランティアなど日常生活の援助を通じ社会参加への手助けをしています。
◆福祉施設での活動・・・
踊り、楽器の演奏、ひょっとこ踊りなど教養娯楽のお手伝いをしています。
◆社会奉仕の活動・・・
地域環境、自然を大切にするなどの社会奉仕をしています。

▲地域交流サロンボランティア
参加者とのお話しやレクリエーションなどを行っています。
その他、身近なことから始めるボランティア活動がたくさんありますので詳しくは下記までお問い合わせください。
社会福祉法人 帯広市社会福祉協議会 帯広市公園東町3丁目9番地1（帯広市グリーンプラザ内） TEL:0155-21-2414 FAX:0155-21-2415
帯広市ボランティアセンター TEL:0155-21-2454 FAX:0155-21-2455